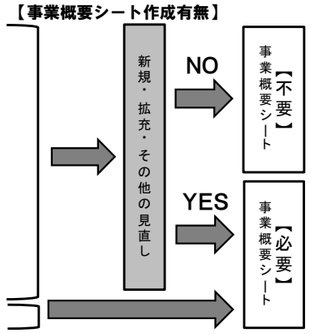
事務事業評価表

施策名	1701	計画的な土地利用と都市拠点機能の充実

【事業類型】

1　職員人件費のみの事業
2　国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務）
3　負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く）
4　組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議会事務など）
5　施設の維持管理費のみの事業（光熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料）
6　施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託）
7　課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成）
8　団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。
9　ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業
10　ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万未満（事業類型1～9以外）
11　ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）

【事業概要シート作成有無】



【事務事業評価の視点】

妥当性（市の関与）
　a…市が実施することが妥当である
　b…見直す余地がある
　c…市が実施する緊急性が認められない
有効性（施策貢献度）
　a…施策への貢献度が高い
　b…施策への貢献度が著しく高いとはいえない
　c…成果の向上が見込まれない
効率性（コスト）
　a…コストを見直す余地がない
　b…検討する余地がある

＜総合評価＞
　A…計画通りに事業を進めることが適当
　B…事業の進め方の改善検討
　C…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討
　D…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

NO	事業名	担当課 課長 担当者	事業内容	事業期間 開始	事業期間 終了	根拠法令要綱等	事業類型	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円） R５決算	事業費（千円） R６予算	事業費（千円） R７見込	人件費（千円） R５決算	人件費（千円） R６予算	主な指標	単位	R５ 計画	R５ 実績	R６ 計画	R７ 計画	事業の方向性	概要シート
1	土地取引・利用対策事業	企画政策課 三岳　和裕 川副　健太	国・県が実施する地価公示・地価動向調査に関する協力、土地売買等届出の受付事務及び届出制度の広報活動を行う。			国土利用計画法、地価公示法	2	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	107	104	91	1,963	1,963	国土利用計画法第23条に係る届出率	%	100.0	44.4	100.0	100.0	現状維持	無
2	地籍調査事業	管財課 井手元　和枝 田中　豪章	一筆ごとの土地の所有者・地番・地目・境界・面積を調査・測量し、復元可能な地図を整備する。 調査対象面積　：103.02　㎢ 調査対象外面積　：23.62　㎢	昭和63年度	令和19年度	国土調査法 国土調査法施行令	9	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	137,662	178,599	83,494	30,797	33,033	進捗率（計画面積の103.02㎢）	%	60.7	61.0	63.3	66.0	現状維持	無
3	都市計画用途地域見直し事業	都市計画課 帯山　武敏 進藤　拓也	都市計画基礎調査を基に、上位・関連計画、現況整理を踏まえ、適切な土地利用の実現に向けて、用途地域をはじめ各種規制・誘導手法など、本市の土地利用計画案を作成する。その後、土地利用計画案について、不適格建築物の調査や関係機関との調整を図り、都市計画法に基づく都市計画決定（変更）手続きを行う。			都市計画法 都市計画運用指針 建築基準法	9	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	0	8,213	15,566	0	4,360	対象地域	ha	0	0	0	0	現状維持	無
4	デジタル活用推進事業 （旧 大村未来都市構想策定事業）	デジタル推進課 東　賢一 上岡　あかり	令和3年度に策定した大村未来都市構想及び大村市DX推進計画に基づき、外部協議会や研修会等を開催し、本市のデジタル活用の推進を行う。また、令和5年度に電子申請システムの導入を行っているため、各課に導入希望を問い、希望があれば電子申請の導入を進めている。	令和3年度		デジタルガバメント実行計画 自治体DX推進計画	11	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	6,764	8,693	10,552	10,200	6,918	大村未来都市構想推進協議会の開催回数	回	3	0	3	3	現状維持	無
5	しあわせ循環コミュニティ事業	デジタル推進課 東　賢一 山田　悠貴	共助の精神のもと、あらゆる立場の人々がつながり、支え合う市民参加型のコミュニティ実現に向けて、しあわせ循環コミュニティ事業（公共施設へのスマートロック導入、「バス・チケットアプリ」の導入、「ゆでぴ」でのオンライン決済　など）を推進する。	令和5年度		デジタル田園都市国家構想交付金制度要綱 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）交付要綱	11	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	268,476	180,663	66,944	19,506	27,738	共助ダッシュボード（地域共助事業・子育て支援事業の入り口となるアプリ）の登録数	件	500	59	5,000	10,000	現状維持	無
6	鬼橋坂口線周辺整備事業	都市計画課 帯山　武敏 進藤　拓也	都市計画道路の整備により、機能的な幹線道路ネットワークの形成を図る。また、都市計画道路の整備と併せて、大村ＩＣや新大村駅にも近く、新大村駅周辺の活性化を図る有効な土地利用を促進させるため、周辺整備を行い、計画的な土地利用を推進する。	令和7年度	令和13年度	都市計画法 都市計画運用指針	9	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	0	0	313,990	0	0	鬼橋坂口線周辺整備事業の進捗率	%	－	－	－	3	新規	有
7												0	0	0	0	0								
8												0	0	0	0	0								